

電界強度 自動測定ソリューション

【概要】

高速道路は無線を使用した情報技術により、扱う情報量や多様性は年々増加しています。ETC料金所での料金決済情報だけでなく、VICS、ITSスポット、FFアンテナとアンテナの種類も多種多様になり、多種多様な情報を扱うようになっていきます。電界強度測定システム(ME9200)のプログラム測定モードを使うと、これら種々のアンテナの周波数、変調方式によって走行中に測定条件を切り替える煩わしさがなくなり、アンテナの位置、周波数、変調方式の情報を事前にプログラムファイルに入力して、測定ポイントを走行するだけで自動的に測定・解析を行うことができます。

[測定ポイント1]

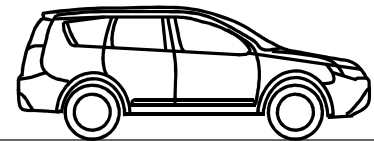
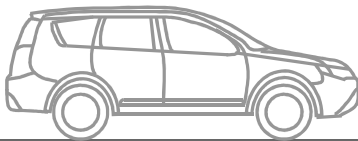
24.7KP
5.805GHz
QPSK

[測定ポイント2]

37.6KP
5.795GHz
ASK

[測定ポイント3]

31.8KP
5.805GHz
QPSK



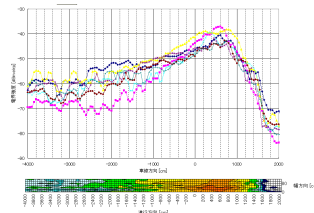
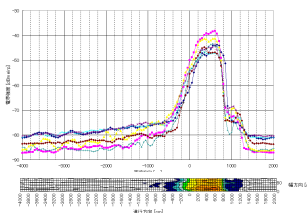
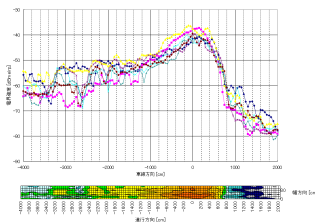
測定ポイント1
解析データ出力



測定ポイント2
解析データ出力



測定ポイント3
解析データ出力



[プログラムファイル]

測定開始地点[km]:20.0

方向:+

No,場所,開始[km],ゼロ[km],終了[km],周波数[GHz],変調

1,測定ポイント1,24.5,24.7,34.8,5.805,QPSK

2,測定ポイント2,37.4,37.6,37.7,5.795,ASK

3,測定ポイント3,31.6,31.8,31.9,5.805,QPSK